

目 次

文化経済学会<日本>2019年度名古屋大会

≪凡例≫

各発表の討論者については、討論者氏名末尾の上付き数字と発表タイトル末尾の上付き数字を参照してください。

表示例)

① - A 文化価値と文化財

●座長：阪本 崇 ●討論者：清水 裕太¹

タイトル	発表者
文化財まちづくりにおける矜持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を通じた持続可能なまちづくろいに関する研究 ¹	藤原 恵洋

分科会 ①

① - A 文化統計 (N102)

●座長：牧 和生 ●討論者：勝浦 正樹¹ / 八木 匡² / 牧 和生³

タイトル	発表者	頁
Clustering Countries into Culturally-Resembling Groups Using Cultural Goods Trade Data ¹	高良 佑樹	
Has Income Inequality Caused Consumption Inequality of Art and Culture in Japan? ²	谷口 みゆき	
大学生の芸術需要構造に関する計量分析 ³	有馬 昌宏	

① - B 文化産業① (N103)

●座長：宮崎 刀史紀 ●討論者：宮崎 刀史紀¹ / 阪本 崇² / 後藤 和子³

タイトル	発表者	頁
有職文化継承の場としての花街一祇甲・上七軒の年中行事を中心に ¹	中原 逸郎	
「パレートの法則」と「ロングテール」の「共存」：AKB48 総選挙の得票数の分析から ²	瀬藤 康嗣	
Customer Value Creation, Marketing Strategy and Management Resources -The Cases of Small Local Cinemas ³	金井 秀介	

① -C 思想と文化 (N104)

●座長：片山 泰輔 ●討論者：熊倉 純子¹／井上 敏²／清水 裕子³

タイトル	発表者	頁
アートボランティアから市民社会参加へ～緩やかな紐帯と段階的社会参加の創発から～ ¹	藤原 旅人	
文化財保護の意義についての史的考察－1871年（明治4）「古器旧物保存方」から2018年（平成30）改正「文化財保護法」まで ²	奥野 耕平	
人間発達支援と現代文化資本論の課題－アーレント「仕事」論の意義 ³	本田 洋一	

① -D 会員企画セッション (N105)

●討論者：佐々木 雅幸

タイトル	発表者	頁
劇場における芸術を通じた社会関係資本の形成について －「ala まち元気プロジェクト」の事例から－	半田 将仁／ 西田 充晴／ ala まち元気プロジェクト参加者 1名程度	

分科会 ②

② -A 文化政策 (N102)

●座長：吉田 隆之 ●討論者：吉田 隆之¹／河島 伸子²／佐々木 亨³

タイトル	発表者	頁
アートプロジェクトボランティアによる評価実践 ¹	三宅 美緒	
舞台芸術におけるアーカイブをめぐる論点と展望 －海外の文化政策と事例をもとに ²	志村 聖子	
ミュージアムの評価指標と評価手法－その現状と課題 ³	後藤 和子	

② -B スポーツ (N103)

●座長：吉本 光宏 ●討論者：吉本 光宏¹/川井田 祥子²/太下 義之³

タイトル	発表者	頁
公共放送による広聴制度の一考察 ～東京 2020 オリンピック・パラリンピックを事例に～ ¹	小林 壘/ 横山 勝彦	
子どもの「居場所」となるスポーツプログラム —社会的インパクトを視点に— ²	米村 真悟	
スポーツと文化の政策融合に関する一考察 —東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを視点に— ³	内藤 正和/ 横山 勝彦	

② -C 創造都市 (N104)

●座長：佐々木 雅幸 ●討論者：衛 紀生¹/萩原 雅也²/佐々木 雅幸³

タイトル	発表者	頁
レジデンス、プロジェクト、コミュニケーションへの岐阜県美術館の取組み について—博物館施策と社会の変化に対応する地方公立美術館の試み ¹	鳥羽 都子	
革新と継承を担う創造の場の形成過程 —京都や金沢に立地する教育研究機関と工芸作家の相互作用— ²	前田 厚子	
創造的人材集積と創造都市・創造農村 ～クリエイティブ・クラスターの可能性と課題 ³	野田 邦弘	

② -D 会員企画セッション (N105)

タイトル	発表者	頁
地域社会と芸術のしなやかさ —変容し続けるシンガポールから日本への示唆—	南田 明美/ 齋藤 梨津子/ 伊志嶺 絵里子	

分科会 ③

③ - A 観光 (N102)

●座長：井口 貢 ●討論者：井口 貢¹／野田 邦弘²／勝又 英明³

タイトル	発表者	頁
観光財源に関する経済・財政面の影響の検討・整理 ¹	山本 史門	
観光における自然資源の文化資源化のプロセスの分析と課題 ²	敷田 麻実	
建造物文化財は稼げるか ～文化財保護法改正（2019年4月1日施行）がもたらす文化財観変容の効果と課題 ³	藤原 惠洋	

③ - B 文化産業② (N103)

●座長：高島 知佐子 ●討論者：草加 叔也¹／八木 匡²／増淵 敏之³

タイトル	発表者	頁
趣味縁による都心空間の暫定利用と表出行為 ¹	加藤 康子	
伝統産業としての日本の自動車産業 承認図の壁を打ち破る独立型自動車ティア2企業の実証研究 ²	佐藤 政行	
食文化と果樹生産の考察：栗の日仏比較から ³	森崎 美穂子	

③ - C 会員企画セッション (N104)

●モデレーター：佐々木 雅幸 ●ゲストコメンテーター：山崎 亮

タイトル	発表者	頁
創造する地域社会の構想	清水 麻帆／ 鈴木 美和子／ 竹谷 多賀子／ 田代 洋久／	

*発表内容は予告なく変更されることがございます